

ネット 冒険あそび場 だより

2013年度の遊び場づくり活動について

遊びを通じて子どもの育ちを支えると共に、「心のケア」も目指した震災発生後の遊び場づくり活動は、3年目に入りました。冒険広場周辺の六郷・七郷地区を中心に始めた巡回型の遊び場は、寄せられるニーズを受けて徐々に増え、今年度には岩沼市・里の杜地区で9か所目が始まりました。仮設住宅での生活が長期化し、学校統廃合の話が進む中、身近なところに遊び場があることの意義をあらためて感じています。地域住民やボランティア、インターン生など、このことに共感して頂いた方々と力を合わせて活動しました。

あそび場 マップ

(A) 若林小あそび場
場所：仙台市立若林小学校
日時：月1～2回程度

(B) ニッペリアあそび場
場所：若林日辺グラウンド仮設住宅
日時：毎週木曜 14時～17時

(C) 六郷あそび場
場所：仙台市立六郷小学校
日時：毎週日曜 10時～16時

(D) 卸町5丁目あそび場
場所：卸町五丁目公園仮設住宅
日時：毎週土曜 10時～16時

(E) 中野小あそび場
場所：仙台市立中野小学校
日時：月1～2回程度

(F) 荒井2号公園あそび場
場所：伊在2丁目公園 (旧荒井2号公園)
日時：毎週水曜 10時～17時 (第1・3水曜 まま&かほえ)

(G) 七郷あそび場
場所：荒井4号公園
日時：毎週土曜 10時～16時

(H) 上荒井公会堂あそび場「ちびひろ」
場所：上荒井公会堂
日時：毎週木曜 10時～12時

里の杜あそび場 公園のあそび場
場所：岩沼市里の杜中央公園
日時：第2・4火曜 10時半～16時半
第4日曜10時～16時

i あいあそびば
場所：岩沼市iあいプラザ
日時：第2・4火曜 10時半～12時

海岸公園冒険広場 (ぼうひろ)

指定管理者となっている冒険広場では、二郷堀と貞山堀を結ぶ導水路の新設工事が始まりました。園内の一部に大きな溝が掘られた様子は、そこに何があったか分からなくなるほどでした。一方、南北の松林跡に広がっていた災害廃棄物の搬入場はその役割を終えてさら地となり、緑の森に戻るのを待つばかりとなっています。海岸公園全体の復旧の方向について仙台市は復興基本構想・基本計画をまとめました。冒険広場については震災前の施設を復旧させつつ、「震災記憶の継承」の機能も付加されることになりました。再開は2018年の予定と時間がかかりますが、それを見据えた地道な取り組みを続けていきます。



※海岸公園復興基本計画より

～ 居久根探訪～

私たちはFEEL Sendai「せんだい環境ユースカレッジ」受講生と、震災で被災した二木地区、そして被災を免れた日辺地区の二つの居久根(いぐね)を訪ね、復興への指標を探りました。



※風雪から家を守り食料・建材・燃料としても利用される屋敷林

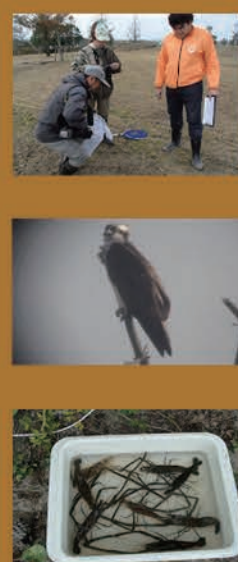
メディアでの紹介

- ・デンソー『デンソー時報』4・5月号「みんな想いが形に」
- ・CAT-V『みんなのテレビ』5月
- ・ラジオ3『伊達の達人』6月17日
- ・ラジオ3『ラチオ『はいらいん若林』8月3日
- ・仙台リビング広告社『リビング仙台』12月21日「Go on support! Vol.14」
- ・宮城保険医協会『宮城保険医新聞』1月5日「出張遊び場で被災した子どものケアを」
- ・『河北新報』1月19日朝刊「遊び場提供活動 根本復興相評価」



被災地域における生き物調査 ～ 冒険広場とその周辺～

震災発生後、冒険広場とその周辺地域で生態系がどのように変化しているのか調査しています。今年度は「キツネ」「タヌキ」などの哺乳類、「オオタカ」「ハヤブサ」などの猛禽類の数が震災前に近づいてきたことを確認できました。震災直前には見ることのできなかつた「テナガエビ」の出現など、新たな変化もありました。また、今年度は調査結果をまとめた報告書も発行しました。



【発行・編集】

特定非営利活動法人
冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク
仙台市青葉区国分町3-8-17 日東ハイツ202
TEL:022-264-0667
メール:asobo@coral.plala.or.jp

冒険あそび場ネット 検索

【デザイン・編集協力】

東北生活文化大学 生活美術学科4年
大風美菜・佐藤由佳・沼田裕也

【初版発行日】 2014年7月1日

ボランティアとの協働

今年度から、ボランティアと協働する遊び場づくり活動に本格的に取り組み始めました。海岸公園冒険広場で遊んで育った若者や、保護者の方々、大学生に声をかけ、共に活動を行いました。
今年度から開始した「里の杜あそび場」では、岩沼市社会福祉協議会と協力し「子どもの遊び場にかかわる大人のためのボランティア養成講座」を行いました。多くの方々を受講され、参加された方々から有志が集まり「いわぬまあそび場の会」も立ち上がります。
ボランティアで参加する方々それぞれの個性が遊び場で発揮され、さらに豊かな遊び環境づくりが進んでいます。



冒険遊び場Q&A

- Q 冒険遊び場って何ですか？
A 子ども自身がやりたいことを見つけ自由に遊ぶ手作りの遊び場です。泥んこになったり、木に登ったり、のこぎりで何かをつくったり…。「危ない」「汚い」と大人がつい止めたくくなるようなことの中にある子どもの興味・発見・挑戦…などを大事にしています。
- Q 何歳から遊べるの？大人でもいいの？
A 0歳から大歓迎！まだ早い？もう遅い？などと考えなくても大丈夫です。大人だって楽しい遊びを発見して夢中になるかもしれません。楽しく遊ぶ大人の姿は子どもの遊び心もくすぐります。色んな人が出会う場です。

今後に向けて

仙台市では復興公営住宅への入居が本格的に始まり、岩沼市では防災集団移転事業による移転先宅地の引き渡し完了しました。仮設住宅から恒久住宅への移行が進む中、復興庁の「新しい東北」先導モデル事業として復興公営住宅での遊び場づくりにも取り組むこととしました。新天地でのコミュニティづくりから住民の減る仮設住宅のケアまで、遊び場が担える役割は大きいと考えています。震災を契機に注目される子どもの遊び場の重要性を社会に伝え、すべての子どもたちが豊かに遊び育つ環境づくりにつなげていきたいと思ひます。

3.11からの動き

2011

- 03/27 他団体遊び場協力開始
- 04/06 物資支援開始
- 05/01 六郷あそび場開始
- 07/31 いのちをつなぐ森プロジェクト
- 08/03 荒井2号公園あそび場開始
- 08/04 ニッペリアあそび場開始
- 09/03 七郷あそび場開始
- 10/29 被災地域における生き物調査開始
- 11/20 海岸公園冒険広場臨時開園①
- 01/30 えっちゃん&おかんの緑側倶楽部開始
- 02/01 上荒井公会堂あそび場「ちびひろ」開始
- 03/03 卸町五丁目公営仮設住宅「お茶っこのみ」開始
- 03/18 海岸公園冒険広場臨時開園②③

他団体の遊び場開催支援

- 「石巻プレーパークin中瀬公園」(石巻市/子どものための石巻市民会議)
- 「子どものまち・いしのまき」(石巻市/子どものまち・いしのまき実行委員会)
- 「うらやまでプレーパーク」(石巻市/北上プレーパーク有志の会)
- 「ふるじろプレーパーク」(仙台市/ふるじろプレーパークの会)
- 「杜の子まつり」(東松島市・南三陸町/せんだい杜の子ども劇場)
- 「海の盆 松島子ども王国開催協力」(松島町/海の盆実行委員会)
- 「NATORIこどもかいぎ」(名取市 生活再建支援課)



つながる、ひろがる

今年度も遊び場を開催している地域や仮設住宅での夏祭り等に協力し、子どもを支える輪を広げるよう努めました。また、講師を招いて研修会・講座を開催するとともに、遊び場・居場所を運営する団体の現場研修・実習を受入れました。今年度は石巻地域を中心に活動するNPO法人「にじいろクレヨン」のプレーパーク運営計画にも、研修のコーディネートなど側面から支援しました。その他、仙台市環境局・FEEL Sendai「杜々かんきょうレスキュー隊事業」にも参加し、幼児対象の環境学習プログラムを実施しました。



仮設住宅夏祭りの協力



研修会開催



研修のコーディネート



環境学習プログラム

いのちをつなぐ森プロジェクト

2011年度に海岸公園冒険広場で実施した植樹の維持・管理に今年度も取り組みました。他団体の協力を頂いて除草を実施し、定期的に巡回・記録しました。緑の再生の一步一步を、これからも見守っていききたいと思ひます。



2012

- 08/22 荒井2号公園仮設住宅「お茶っこのみ」開始
- 09/01 卸町五丁目あそび場開始
- 11/28 「あそびーく」 「シロウ」誕生
- 02/06 中野小あそび場開始
- 02/27 若林小あそび場開始

2013

- 05/11 七郷児童館「七郷あそび場で遊ぼう」協力
- 07/01 住友商事 インターンシップ奨励プログラム受入
- 03/31 「いのちをつなぐ森プロジェクト」植樹場所整備
- 07/31 岩沼「里の杜あそび場」開始
- 08/04 通常総会交流会「復興まちづくりと子どもの遊ぶ環境」
- 10/01 「海岸公園冒険広場生き物調査報告書」発行
- 10/20 環境教育事業「仙台北野の被災と環境再生～居根探訪～」
- 11/18 男女共同参画推進せんだいフォーラム2013参加企画「子どもをとりまく豊かな環境づくり」
- 12/09 お母さんのための子育て講座「こどもも大人もハッピーになる子育て」
- 02/03 研修会「生きづらさを抱える子どもたちに『地域の人』ができること」
- 03/23 研修会「『子ども』と『社会』を『遊び』でつなぐ」

様々な支援活動

他団体の支援が減る中、遊び場と並行して仮設住宅集会所での「ものづくりとお茶っこのみ」支援を継続してきました。今年は乳幼児の遊び場に参加している母親が講師となつてものづくりをするなど、世代を超えた交流の場をつくることもできました。

震災から3年目を迎え、自力再建し移っていく人も増えてくるなど、仮設住宅の状況も変化しています。そのような中、悩み事を聞いたり、ちょっとした頼みごとを受けるようになるなど、仮設住宅に住む方々との関係性がさらに深まりました。今後は復興公営住宅への入居も本格化します。新天地へ向かう方々と、仮設住宅へ残る方々。双方に寄り添うきめ細かな支援が必要になってくると考えています。



産直広場ぐるぐる



産直広場ぐるぐるは、若林区六郷地区・七郷地区の活性化策の一環として地産地消ショップ運営を実施し、震災後は被災地域で暮らす人々の見守りや農業復興の支援活動を重ねてきました。農と食を中心としたショップ運営やサロン活動を通して地域のネットワークを広げ、生産者と消費者をつないできましたが、2014年3月31日をもって当法人としての事業を終了しました。今後もこの経験を礎に、新たな地域づくりに関わっていきたくて思ひます。

